

令和4年度「日本史A」シラバス

学年	学科・コース等	教科	科目	単位数	履修形態
2	普通科・理数科・美術科	地理・歴史	日本史A	2	選択
教科書	改訂版日本史A 山川出版社				
副教材	改訂版日本史Aノート 山川出版社 図説日本史通覧 帝国書院				

学習の目的	
1	平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民になること。
2	あわせて、日本および世界の歴史と生活・文化について認識を深めること。
3	そのために必要な知識の理解と技術を習得すること。

学習の目標	
I 知識・技能	日本前近代の歴史をふまえ、近現代史を諸資料に基づき考察し、歴史の構造とその変化を理解する。
C 思考・判断・表現	歴史を現代の課題と関連して主体的に学び、歴史的思考力を養う。
E 学びに向かう力・人間性等	日本の歴史を世界の動きと関連して把握し、国際社会に生きる日本人としての自覚と資質を身につける。

つきたい力	理解力 考察力 多面的にとらえる力 歴史的思考力 世界史や地理と関連付ける力 客観的で公正な判断力 資料活用能力 探究力 表現力
--------------	--

評価方法	I	C	E
◇ 定期考査は1学期期末、2学期中間・期末、3学期学年末の4回実施する。定期考査は成績の8割分。	○	○	
◇ 各学期ごとに授業ノートを確認する。	○	○	
◇ 課題の取組状況。		○	○
◇ 夏季休業中に歴史・文化財に関するレポート課題を課す。		○	○

履修上の注意および学習のアドバイス等
◇ 授業の前に教科書をよく読んでおくこと。
◇ 授業では説明をよく聞き、ノート空欄の答えだけでなく、説明された事項など自主的にメモをとること。
◇ 歴史事象の背景や、他の事象との因果関係を考えながら学ぶこと。
◇ 教科書中の表・グラフ・地図を読みとり、その意味することを考えること。
◇ 授業の復習を必ず行うこと。

年間指導計画

学期	月	学習内容	学習のねらい・目標	考査	思考を深める問い (C・E)	I: 知識理解	C: 思考判断表現	E: 学びに向かう力・人間性
第1学期	4	序章 近世社会の動揺と近代への胎 3. 日本をとりまく世界の変容 第1章 開国と明治維新 1. アジアの激動と日本の開国 2. 江戸幕府の滅亡	○江戸時代後期の対外関係の変化を幕府の対外政策に着目して考えさせる。○ペリー来航が幕藩体制をどう揺るがしたか考えさせる。○江戸幕府の滅亡を雄藩の行動に注目して考えさせる。		○徳川幕府はどのようにして倒れたのか。	○	○	○
	5	3. 明治維新 4. 富国強兵 6. 殖産興業と文明開化	○何故政府は急激な近代化を図ったのかを考えさせる。○文明開化は人々の暮らしと日本の経済をどう変えたか考えさせる。		○新政府はどのような国づくりをめざしたのか。	○	○	○
	6	5. 明治初期の外交 第2章 立憲国家の成立 1. 自由民権運動 2. 立憲制の成立	○日本の外交政策の意図を考えさせる。○自由民権運動の広がった理由をとらえさせる。○大日本帝国憲法の性格について考えさせる。	期末考査	○民権派の運動は憲法制定にどのようにつながったか。	○	○	○
	7	3. 立憲政治の展開 4. 日清・日露戦争	○初期議会の運営を政党と藩閥の抗争の視点から理解させる。○それぞれの戦争が日本に何をもたらしたのか考えさせる。		○日清・日露戦争で日本・中国・朝鮮の関係はどうか変わったか。	○	○	○
第2学期	9	5. 産業革命と社会の変容 6. 明治の文化 第3章 第一次世界大戦と日本 1. 政党政治の展開	○産業革命は何をもたらしたか考えさせる。○近代文化の特徴をとらえさせる。○桂園時代がどのようなものだったのか考えさせる。○第1次世界大戦になぜ日本が参戦したか考えさせる。		○産業革命は人々に何をもたらしたか。	○	○	○
	10	2. ワシントン体制 3. 経済・社会の変容 4. 市民文化 第4章 昭和の恐慌と満州事変 1. 恐慌の時代	○成金が生まれた理由を考えさせる。○大戦後社会運動が発展する理由を考えさせる。○大正期の文化の特徴をとらえさせる。○大正デモクラシーの限界を考えさせる。	中間考査	○第一次世界大戦によって日本と世界はどのようにかわったか。	○	○	○
	11	2. 政党内閣期の内政と外交 3. 軍部の台頭 第5章 第二次世界大戦と日本 1. 日中戦争 2. 重化学工業化と統制経済	○軍縮政策から軍拡政策になぜ展開していったか考えさせる。○国民が戦争に総動員されていく過程を理解させる。	期末考査	○満州事変はどのようにして人々の支持を集めたのか。○日中戦争はなぜ長期化したのか。	○	○	○
	12	3. 第二次世界大戦と太平洋戦争 第6章 占領下の日本 1. 占領と改革	○戦争は文化をどう圧迫したか考えさせる。○「大東亜共栄圏」とはどのようなものか考えさせる。○敗戦の意味を考えさせる。○占領政治の特徴を理解させる。		○日本はなぜアメリカと開戦したのか。○日本は近代国家をどのように作り国際社会とどのようにかかわったのか。	○	○	○
第3学期	1	2. 冷戦の開始と講和 第7章 経済繁栄と保守長期政権 1. 55年体制	○新憲法はどのような過程で作成されたかを理解させる。○朝鮮戦争は結果的に日本にどのような影響をもたらしたか考えさせる。		○戦後の国際関係は占領にどのような影響を与えたか。○独立後の日本はどのような政治体制で運営されたのか。	○	○	○
	2	2. 高度経済成長期の経済と社会	○新安保反対運動はなぜおこったのか考えさせる。○高度経済成長の光と影を理解させる。○高度成長がなぜ終わりその後どうなったのか考えさせる。○戦後どのような文化が生まれたか考えさせる。	学年末考査	○急激な経済成長は日本社会をどのようにかえたか。	○	○	○
	3	第8章 現代の世界と日本 1. 冷戦の終結と日本 2. 日本社会の動揺	○経済大国化がもたらしたものをとらえさせる。○バブル経済の崩壊が何をもたらしたか考えさせる。○21世紀の日本社会の特徴と課題を考えさせる。		○「大国」としての日本に求められる役割は何か。	○	○	○

※行事等で変更になる場合があります。